

No. 83
2015.5.1

宇治田原町 議会だより



《目次》

- 3月定例会 2.3P
- 人事案件・委員会報告 4.5P
- 予算特別委員会 6~8P
- 10議員が町政を問う 9~19P
- 議会報告会 20P
- インタビュー 21P

平成27年度予算 **可決**

3月定例会

未来を担う子どもたちの
健全育成



高校生通学費補助金 1,519万円
放課後児童健全育成事業 1,756万円

幸せを実感できる
健康・福祉サービスの充実



宇治田原町 総合文化センター
児童遊園整備等事業 495万円
パパの子育て応援事業 37万円

未来の希望を
拓くまちづくりの推進



第5次まちづくり総合計画策定事業 598万円
公共施設等マネジメント推進事業 495万円

平成27年第1回(3月)定例会は、3月4日から27日まで開催した。予算関係12件(補正6件・当初6件)、条例関係17件、一般議案10件、人事関係1件が提出され、いずれも原案どおり可決した。当初予算については予算特別委員会を設置し、慎重に審議した。一般質問には10人の議員がたち、活発な議論を展開した。

会計別の予算

(千円以下切捨て)

会計予算名		予算額	前年度比	議決の結果	
一	一般会計	42億8,200万円	3.2%	可決	賛成8・反対3
特別会計	国民健康保険	12億7,307万円	16.2%	可決	賛成全員
	後期高齢者医療	9,156万円	3.4%	可決	賛成9・反対2
	介護保険	8億3,602万円	15.4%	可決	賛成9・反対2
	公共下水道事業	8億6,781万円	22.4%	可決	賛成全員
水道事業会計		5億7,135万円	12.7%	可決	賛成全員
合計		79億2,181万円	8.1%		

大型積極予算で地方創生を

6つの重点施策〈主な事業〉

成長基盤を築く道路交通網の整備促進



宇治田原山手線整備事業 (307以北1.2k)
2億607万円
町道新設改良事業
4,354万円

くらしの安心・安全の確保



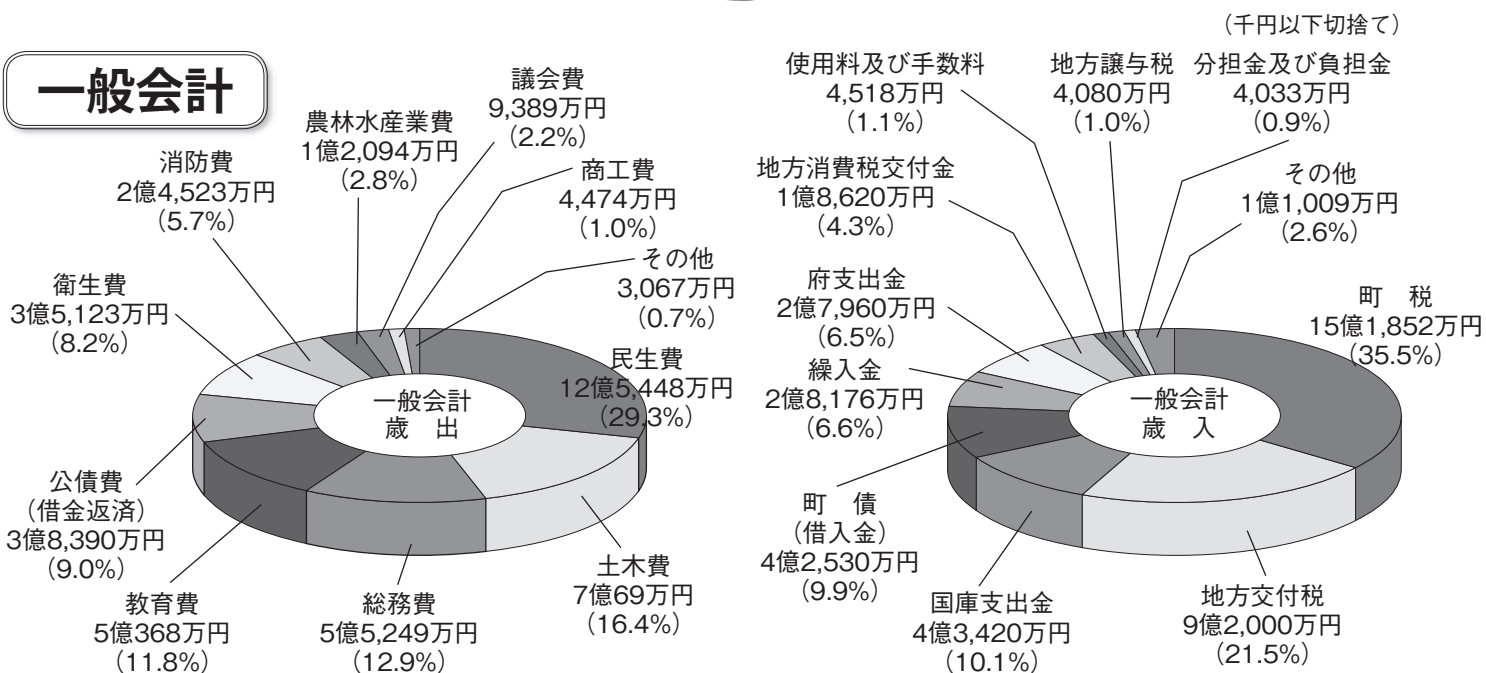
地域防災対策事業 (防災計画・マップ改定)
811万円
曇り止めカーブミラー整備事業
1,000万円

まちの特色を活かした産業・観光振興



未山・くつわ池自然公園整備事業
405万円
企業立地促進助成金
1,008万円

一般会計



※端数整理上、予算合計と一致しません

人事案件

人権擁護委員の選任同意

高田 美智子氏(岩山)

任期 平成27年7月1日)

平成30年6月30日

【同意 全員賛成】

補正予算特別委員会

一般会計(13か月予算)の補正の主なものは、保育の質の向上を目指す上からも、なぜ

*消防団員装備拡充事業

費(1000万円) 【答 弁】

*保育所運営充実事業費

(700万円)

*プレミアム商品券発行

事業費(1350万円)

*国保関係の補正について

では補助金等の確定及び

決算見込みによるもの

【質問】

一般会計

【質問】

保育運営充実事業につ

【答 弁】

今までの実績をも参考

にし、町として一定の限

度は示していく中、事業

趣旨を十分踏まえたもの

となるよう対応してい

たい。

会 計 予 算 名	補 正 額	補正後の予算総額	議 決	
一 般 会 計	△1,213万円	43 億 1,281 万円	可決 全員賛成	
特別会計	国 保 会 計	305万円	11 億 6,061 万円	可決 全員賛成
	介護保険会計	△1,529万円	7 億 2,420 万円	可決 全員賛成
	奥山田簡水会計	△347万円	5,511 万円	可決 全員賛成
	公共下水道会計	△2,035万円	6 億 8,791 万円	可決 全員賛成
水道事業会計	収益的支出	△571万円	2 億 4,902 万円	可決 全員賛成
	資本的支出	△3,022万円	2 億 2,368 万円	

総務産業常任委員会

簡易水道事業を廃止する条例

【質問】

統合後は公営企業会計

になり、繰り出しは行わ

ないという事でよいの

か。

【答 弁】

繰入金の大半が、拡張

工事等の元利償還金であ

り、一定のルールで繰入

を継続する。

【質問】

警察との協議内容につ

いてはどうなっているの

か。

【答 弁】

地域見守りステーション

とし、警察官立ち寄り

所の看板掲げ、警察官

が立ち寄っていただける

よう協議を行っている。

【質問】

それぞれ施設について、各部署で管理等を行っている。(全員賛成)



奥山田浄水施設

森林総合施設(くつわ池)の設置と管理条例の一部改正

【質問】

改正が4月1日となっているが、実施時期はいつなのか。

【答弁】

告知期間も必要であり、5月1日を目的に改定。(全員賛成)

指定管理者の指定について

奥山田ふれあい交流館
林業センター
末山、くつわ池自然公園

商工センター

銘城台2公園

緑苑坂3公園

やすらぎ荘(文厚付託分)

指定管理の一般的な町の考え方は原則、公募としているが、今回は公共的団体への随意契約とし、指定期間は3年としている。(全員賛成)

文教厚生常任委員会

指定介護予防支援等の基準を定める条例を制定

厚労省で定めていた、

介護予防支援等の事業の人員及び運営を地方自治体に移管するもの。(全員賛成)

包括的支援事業に関する基準を定める条例を制定

厚労省で定めていた基準に従い、また町基準を

規定する。

【質問】

2527人が対象となることから、人員配置基準は現時点でクリアしているのか。

【答弁】

保健師と社会福祉士又は主任介護支援専門員となっており、2名体制が基準となっている。専任で当該事業に従事している保健師は不在であり、



元気はつらつ若返り塾

保健センターに配置している保健師が業務の一部を兼務している状況である。(全員賛成)

地域密着型サービス事業に関する条例の一部改正

【質問】

地域密着型通所介護に移行される町内の事業所は、条例の何項に該当するのか。

【答弁】

平成28年4月に移行予定。現在省令の改正が実施されていないことから、今回の条例改正には位置付けをしていない。(全員賛成)

地域密着型サービス・介護予防サービス事業者に関する条例の一部改正

【質問】

介護支援事業者についての基準を、今回定める

ものであるが、今までの人員等の基準については、厚労省令で定められていたものを準用することではないのか。

【答弁】

基本的に国の省令の内容と同じである。(全員賛成)

地域密着型介護予防サービス事業と支援に関する条例の一部改正

【質問】

老人医療費の支給に関する条例の一部改正

【質問】

本町において、負担割合が変更になる対象者は何人いるのか。現在の該当者400名全てが影響を受ける。また、負担が増加することにより、受診抑制が進み重症化することにより医療費がかさむことになるのではない

か。

【答弁】

保健制度は取り巻く社会情勢によっても変化せざるを得ない。制度が破綻しないように、また負担割合の逆転現象が起こる可能性も考え、京都府全体において2割としたところである。(賛成多数)

討論

反対 (今西久美子議員)

400人もの高齢者の医療費窓口負担が1割から2割になる。年金が下がり、消費税が増税される下で重大。現行制度のまま、74歳までに拡充するよう府に求めよ。

保育の実施に関する条例を廃止する条例

新制度に移行するため

(全員賛成)

* 予算特別委員会の審議から *

予算特別委員会は、12人で構成し、委員長に谷口重和議員、副委員長に奥村房雄議員を選び、3月17日から4日間の日程で審査した。主な質疑は以下のとおり。

総括審議

【質問】

消費税が導入されて1年が経過するが、宇治田原町の企業や商店の経営状況をどう見ているのか。中小企業・商店への支援強化についての基本的な考え方は。

【答 弁】

経営状況については、全体的には横ばい若しくはやや下降気味と受け止めている。このため引き続き町内企業の支援を図

るため、地域ブランド育成応援事業を創設するなどして対応したい。

【質問】

住宅リフォーム助成制度の創設についての考えは。

【答 弁】

空き家対策として実施する調査の中で対応も併せて考える。

【質問】

景気回復が、町にも実感できる状況であるのか。

【答 弁】

実感できる状況には

至っていない。地方版総合戦略の中で取り組んで行きたい。

【質問】

災害時情報伝達システム整備の方向性は。

【答 弁】

平成27年度中には方向性を確定するため、積極的に取り組んで行きたい。

【質問】

マイナンバー制度の今後の住民への周知は。

【答 弁】

広報紙、ホームページ等により周知したい。

【質問】

少子化対策についての、町としての意気込みは。

【答 弁】

早い時期に、若手職員を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、具体的な施策立案に繋げたい。

【質問】

小中一貫教育推進につ

いて、今後どのように方針を定めるのか。

【答 弁】

それぞれが有する特徴を捉え、本町に適した形態の判断が必要になってくる。

【質問】

道徳の教科化に伴う効果及び諸課題は。

【答 弁】

多様な価値観を認識しつつ、より良い方向をめざす資質・能力の育成に効果がある。

一般会計

【質問】

福祉バス運行事業の効率的な運営としてデマンド方式を検討すべきでは。

【答 弁】

多様な手法の検討が必要である。デマンド方式についても研究調査を進めていきたい。

【質問】

保育所の職員体制の考え方は。

【答 弁】

8名の月額制の保育士



宇治茶の郷



学校施設

を配置する。副担任とし、保育の充実を図る。

【質問】 木造住宅の耐震化の推進については。

【答 弁】 総合教育会議は、学力テストの成績の公表について議論の場となるのか。

【質問】 山手線の国道以南の進捗状況については。

【答 弁】 以南についても新名神開通に伴い、町づくりの

観点からも必要である。

35年の開通までには、実現にもつていければと考えている。

【質問】

総合教育会議は、学力テストの成績の公表について議論の場となるのか。

【答 弁】

総合教育会議の中での協議事項と考えている。

子供たちのためになるのであれば、公表の決断も必要かと思っている。



山手線

討論

【反対】

政府は「社会保障のため」と消費税を増税しながら、国民には増税と社会保障の切り捨てで、格差をいっそう拡大。国の悪政をそのまま宇治田原町に持ち込んでいる。

山手線は府頼みでなく、町独自の建設計画を。災害時の住民への情報伝達手段の早急な整備を。保育所の副担任は正規職員とすべき。町長は、消費税増税や原発再稼働を容認、国や府の社会保障改悪に対しても言いなりで、防波堤としての町の役割は果たせず、住民の暮らしや営業を守れない。

討論

【賛成】

税収減といった厳しい財政事情の中、事業の見直し等による歳出の適正化を図り、府の交付金や財政調整基金を活用するなどの財源確保対策で6つの重点施策を中心に重点的かつ積極的に予算配分されている。特に子育て世代への経済的負担軽減、山手線の促進、住民の命と暮らしを守る地域防災計画、マップの改定事業を高く評価する。

(奥村 房雄議員)

国保会計

【質問】

第二次の健全化計画への体制強化等の取組について。

【答 弁】

健全化計画の執行管理の歳入面については、収納額は現年分・滞納分とも記載値を上回る見込みである。歳出面では、医療費が一般被保険者につ

下水道事業会計

【質問】

下水の普及率はどうなのか。

【答 弁】

平成26年度末見込値で、63%と見込み、27年度には管渠の整備を行い、66%の普及率を見込んでいます。また、27年、28年の2カ年をかけて全体計画の見直しを行う予定です。

水道事業会計

【質問】

簡易水道との統合について経営状況はどうなのか。

【答 弁】

経営上での水道施設は、30数万円の赤字となる予定。



水道施設は、30数万円の赤字となる予定。

条例

府営土地改良事業に係る分担金徴収条例

【質問】

受益者負担金の考え方についてはどうなのか。

【答 弁】

観光振興計画の中に、拠点として位置づけていきたい。また若い後継者が続けてお茶を作るといふ側面で、重要な基盤整備と考えている。

地教法の一部改正に伴う関係条例の整備

【質問】

新教育長制度の導入に伴い、教育行政への介入することがあるのか。

【答 弁】

町長部局で判断、決断しなければならない可能性はある。そういう時は教育委員会と十分協議し、早く決断していくようにしていきたい。

討論

地教法反対

(今西久美子議員)

国の地教法の改正は、教育委員会の独立性を奪い、国や首長が教育内容に介入する仕組みをつくり、教育の自由と自主性を侵害するもので反対であり、本議案についても反対。

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

【質問】

審議会の答申での議会活動について、高い評価をいただいたことは喜ぶべきだが、この時期の改定はどうか。

【答 弁】

改正時期については、今が一番いい時期だと考える。今後においても、毎年、早い時期に報酬等審議会を開催し、精査を願っていきたい。

保育所設置及び管理に関する条例の一部改正

【質問】

様々な軽減措置を行っている中、本町の保育料は、国の基準割合ではどれくらいなのか。

【答 弁】

今、システム変更を行っている中、新料金により総じていくらになるかを、今算定をはじめている。

討論

議員報酬の引き上げ反対

(安本 修議員)

報酬等審議会の答申は、尊重するが、今は、春闘の回答報道をみて、消費税の引き上げ等、住民生活が、厳しい中、現時点での引き上げには、賛成できない。



町立保育所

介護保険条例の一部改正

【質問】

介護予防生活支援総合事業の考え方は。

【答 弁】

介護保険本体と同じで、国・府・市町村が負担をするものであり、介護保険から全く切り離しての事業ではない。これまでの予防給付として給付されていたものがベスになる。

討論

介護保険条例反対

(安本 修議員)

介護保険料は、「基準額」で年5,600円9.4%の値上げで、住民負担が大きくなり、反対。国の負担を制度導入前の8割に戻すよう国に求めるべきである。



大福茶園

一般質問

ズバリ! 町政を問う

3月9日 午前10時～



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	件名
1	稲石 義一	1. 平成27年度施政方針について
		2. 平成27年度の組織・機構について
		3. 町診療所の再開について
		4. 観光振興計画策定の進捗状況について
		5. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う本町の対応について
2	谷口 重和	1. 介護施設について
		2. 空き家問題について
		3. 防災対策について
3	垣内 秋弘	1. 地方創生について
		2. 教育問題について
		3. 新市街地の整備について

	質問者	件名
4	今西久美子	1. 町長の政治姿勢について
		2. 安住対策について
		3. 子育て支援の充実について
5	山内実貴子	1. 健康対策について
		2. 子育て支援対策について
6	上林 昌三	1. 救急体制について
		2. 環境問題について
7	原田 周一	1. 大手スーパーの進出について
		2. 水資源確保について
8	青山 美義	1. 安心安全対策について
9	内田 文夫	1. 町長の政治姿勢について
		2. 一貫教育について
		3. 産業観光振興について
10	安本 修	1. 鳥獣対策について

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴のためには本会議当日に町役場2階総務課で受付をしていただきます。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

内科以外で診療所再開を!



稲石 義一
議員

【質問】

昨年11月末で閉院となつた町診療所の再開について、眼科・整形外科・皮膚科・耳鼻咽喉科

など内科以外の受診ができる医療体制を強く求めるが。

【答 弁 (町長)】

町診療所の再開に向け

た京都府及び医師会との意見交換会では、内科は町内に既に3院が開業しており新たな内科医の必要性は低い。また、眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科などについては人口1万人程度では経営が成り立たないなどといった意見を頂いた。しかし、内科以外の受診者(特に整形・眼科など)も多くおられる実態から、複数の診療所に日替わりで異なる診療科目の医師を派遣している医療法人の事例なども参考にしながら、本町にない診療科目による医療機関として町立診療所を活用していくことを第一に係機関と協議を重ねていきたい。



町公設診療所

末山・くつわ池自然公園の整備は町主体で!

【質問】

毎年1万人近くの観光客が訪れる末山・くつわ池自然公園は、全国森林

浴の森百選にも選ばれた緑に囲まれた四季折々の自然が楽しめる観光スポットである。今後の施

設備計画についてご意見を伺う。

【答 弁 (町長)】

昭和56年に開園された自然公園も経年経過により施設が老朽化しており、修繕だけでなく抜本的な改修が必要な時期に来ている。今回の指定管理者の更新に当たり、維



くつわ池自然公園

持管理経費と投資的経費の負担区分を見直し、根本的な施設整備については町において主体的に整備することとし、なお、当該施設の中長期的な整備計画については今後、郷之口生産森林組合と協議・検討する中で策定することとしている。

岐阜池田町との災害協定締結は

【答】新茶の時期に災害時応援協定ができれば

【質問】

近年全国各地で大きな、災害が頻繁に発生しており本町も日頃から防災力を高めるため、町ぐるみで防災訓練や有事の時の資器材等の整備も鋭意進めていただいているが、災害協定は必要である。そして池田町は茶の生産も盛んで文化や産業の交流としては。

【答 弁 (町長)】

災害協定締結は5月頃に、また特産品などさまざまな交流、協力が出来ればと考えている。



空き家

空き家の解消方法

【答】相談窓口等を設け施策に反映していく

【質問】

空き家を活用する際の助成制度や支援策を実施し事業者団体のサポートを活用しては。

【答 弁 (副町長)】

危険な建物の実態を把握する必要がある、調査に取り組み本町の状況を把握した上で相談窓口を設け、どの様な対応策が必要か施策に反映していく。



谷口重和
議員

3ヶ年かけて開設に取り組むのか

【答】小規模特別養護老人ホームの整備に取り組む

【質問】

前回計画の地域密着型複合型は実現されませんでした。今回計画の小規模特別養護老人ホームの整備実現の手法は。

【答 弁 (健康長寿課長)】

新年度から3年かけ委員会を設置、公募の準備、事業者選定、翌年度に建設着手、完成は平成29年度とし、サービス開始をめざしていく。



デイサービス

新市街地の整備計画は

【答】まちづくりに反映できるよう努める



垣内秋弘
議員

【質問】

近隣の市町では道路の利便性を活かして工業団地の造成が急ピッチで進められている。本町にあっても新市街地の整備

は以前からの課題である。山手線の早期完成を

目指すためにも方向性が

必要である。西谷町長の

精力的な営業活動を期待

するが、町長の考えとコ

ンセプトは。

【答 弁 (町長)】

平成24年に産業系の整備を行うこととして都市

計画決定をしている。中

部並びに南部のエリアに

関しては、あと約1年半

程度で復旧作業が終えら

れる状況であり、今後の

土地利用について協議を

進めたい。平成35年度の

新名神の開通を視野に入

れながら、私自身が汗を

かき企業誘致を進めて行

きたい。



新市街地

地方創生の取り組みは 【答】向こう5年で活性化させ

【質問】

地方創生の3つの視点

①若者が夢や希望の持て

るまちづくり②人口減少

対策③観光及び基幹産業

の茶をはじめ、農・林業、

商工業、観光等地域を活

性化させ地域版総合戦略

の取り組みは。

【答 弁 (町長)】

地域の特色や地域資源

を生かした「しごとづく

り」「ひとの流れ」「結婚・

出産・子育て」等の視点

に基づき策定組織を立ち

上げ総合戦略を策定し、

向こう5年で活性化に結びつけたい。

どうなる新教育委員会制度は 【答】経過措置を踏まえて移行する



教育委員会会議

【質問】

平成27年度から教育委

員会制度が変わるが、新

教育長の任期及び設置に

ついての考え方は。ま

た、大綱の作成と総合教

育会議の進め方は。

【答 弁 (町長)】

現教育長は、経過措置

による規定により在職す

るが、しかるべき時期に

新制度に移行できるよう

調整を図っていく。新教

育長は行政の特別職とな

り、任期も3年となる。

また、新年度から総合教

育会議を設置する。

子育て支援の強化を

【答】さらに子育てしやすい町の実現に取り組む



今西久美子
議員

【質問】

保育所職員室の奥に追いやられ手狭な子育て支援センターをもっと広い場所に移設し、充実を。

【答 弁 (福祉課長)】

子育て相談や親子遊びには十分な広さが確保できている。移設は、今後、病児保育の実施や児童数等、総合的に考えていく課題である。

【質問】

「みんなの家」の運営は、専任の職員を置いて充実すべきでは。

【答 弁 (福祉課長)】

「みんなの家」は、ボランティアや子育てサークルメンバー等、みんなが

スタッフとの考え方で運営しており、専任の職員配置は考えていない。

【質問】

子育てにかかる経済的

運営を。

支援の強化や自然豊かな宇治田原の魅力を十二分に發揮して「子育て応援日本一」をめざした行政

【答 弁 (町長)】

子どもの医療費、高校生通学費などに補助を実施しており、今後、本町の特色を生かした子ども



子育て支援センター



みんなの家

も・子育て支援事業計画を着実に実施していくこと、実現を図っていく。

とで、子育てしやすい町の

定住化の促進を

【答】総合計画や総合戦略で具体化する

【質問】

全国でも本町でも、高齢化や人口減少が問題となっている。移住・定住を促進し、若者が住み続けられるまちづくりを進めるべきでは。

【答 弁 (企画課長)】

若い方々が住み続けたらいいと思うまちづくりの推進は、今後重点的に取り組む必要がある。具体的方策は、第5次まちづくり総合計画や地方版総合戦略に掲げていく。

消費税増税に反対を

【答】増税は避けて通れない

【質問】

安倍首相は、1年半後に消費税を10%に増税するとしているが、住民にも町財政にも大きな影響を及ぼす。町長として住民の立場で反対表明を。

【答 弁 (町長)】

国と地方の危機的財政状況や社会保障財源の確保を考えれば、消費税引き上げは避けて通れない。増税については、政府が適切に判断されると考えている。

公園に健康遊具の設置を

【答】公園整備で設置を検討

【質問】

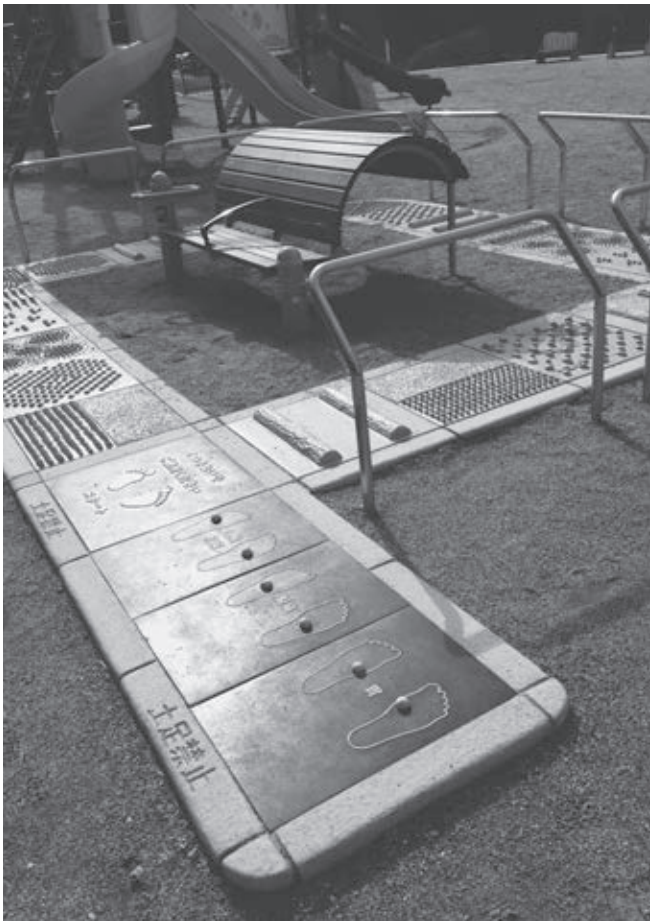
高齢者が、身近に自分の行きやすい時間に、ちよつとした運動ができる場所として健康遊具を公園に設置し、誰もが自由に運動に参加できる体制にはどうか。

制にはどうか。

ウォーキングや、ジョギングの拠点として、公園として子ども達の遊べる機能と、その見守りや交流も図られる場所として、地域での健康に対する意識啓発にも有効だと考える。このような公園整備についてご検討頂きたい。

【答 弁(建設課長)】

近年の少子化で、公園を利用する子どももの減



公園に設置された健康遊具(他町)



山内実貴子
議員

少、中高年者による公園利用者の増加など、有効的な公園活用方策が求められ、健康に対する意識の高まりから、「健康遊具」を公園に設置する自治体が増えている。基本的には健康遊具は大人向けで、設置に当たっては本来公園の持つ機能を損なわないこと、子どもも使用する可能性を前提とするなど、国の定める安全基準に適合する形で進めなければならない。このような状況を踏まえ、今後の整備スケジュールの中で健康遊具の設置を検討したい。

認定こども園の設置についての考えは 【答】現行施設での質の向上に努める

【質問】

子育て世代のニーズと宇治田原町の保育・教育環境はどうか。幼稚園と保育所の両方の機能を兼ね備えた、認定こども園の設置についての見解と、現在ある町立保育所、うぐいす幼稚園との連携、また新たな施設の開設など、選べる保育・教育環境について考えは。

【答 弁(福祉課長)】

「認定こども園」につ

いては、教育・保育施設のひとつの形態であるが、4月からの子ども・子育て支援新制度の開始に際し、教育・保育の必要量については、町内のうぐいす幼稚園及び町立保育所で確保されていることから、まずは現行の施設において、良質かつ適切な教育・保育体制の提供に努めることが優先課題と考えている。



町立保育所・子育て支援センター

宇治市内の2病院の移転で救急体制は

【答】迅速に対応できる



▲移転される総合病院▼



上林昌三
議員

て影響が出るのかどうか。

【答 弁（総務課長）】

本町では、年々救急搬送件数が増えている状況であり、こうした中、お

尋ねの宇治市内の2病院が新築移転の工事を進められており、心配されている方もいますが、急病

人が発生した場合、救急救命士を含む3名が乗車

した救急車が出動し、患者の観察、処置を実施し状況を聴取した後、患者の症状に適した病院を直近病院から選定連絡し、搬送されますので、移転

があっても迅速に対応していけるものと考えている。

【答】概ね適正に分別されている

プラごみの分別・搬出状況は

【質 問】

本年1月からプラマー

判断している。

ク容器包装物の分別収集が始まり2か月が経過した。この間のごみステーションでの分別・搬出状況はどうだったのか。

【答 弁（環境課長）】

プラマーク容器包装物の分別・搬出状況については、一部紙製カップめ

一方、「燃やさないごみ」の日については、明らかにお菓子の袋、発砲トレイ・カップめん容器など「プラマーク容器包装物」として搬出しなればならないものが、ステーションに出されている状況にありました。

んやパックジュースの容器及び汚れのひどいものなどが混入している状況でありましたが、概ね、適正に分別されていると

このため、引き続き、資源ごみとして分別・リサイクルすることの意識づけについて啓発に努めて参ります。

【質 問】

京田辺市消防本部に救急業務を事務委託してから早や23年が経過しようとしている。この間た

され、多くの命が救われている。こうした中、搬

送先である宇治市内の2つの総合病院が新築移転工事を進められている。今後の救急搬送につい



大手スーパー進出で地元の影響は

【答】進出は少なからず影響がある

【質問】

消費者にとっては歓迎であるが小売業は死活問題。本町への影響は。

善の取り組みや地域資源を活かした応援事業を実施の予定。交付金を活用した八千万円のプレミアム

【答 弁(産業振興課長)】

スーパーの進出は少なからず影響がある。店の強みを活かす様な経営改

する補給金の事業も継続していく。



大手スーパー開業予定地

水源確保のために山の手入れを

【答】後々の世代のためにも適切な対応に努める

【質問】

川からの取水権がない本町の上水道は、全て地下水である。人工林及び天然林の割合は。また、私有林の間伐状況は。

【質問】

町有林を併せても約森林面積の10%の間伐である。

【答 弁(産業振興課長)】

森林面積の内天然林は42.3%、人工林は57.7%。私有林は、木材価格の低迷により間伐可能な森林に関して不採算の間伐を見送られている状況。24年度32.76ha。25年度38.57ha。私有林の間伐を実施した。

町有林は私企業のモデルフォレストの取り組みで整備作業が進んだが、私有林にも産・官・学・NGO・住民の横断的取り組みも必要では。

【答 弁(産業振興課長)】

森林の保水力確保に向けての取り組みは府モデルフォレスト協会や関係機関と連携を図り、森林所有者にも間伐指導を行

い、整備の推進を図り、水源涵養機能が発揮出来る様努める。

の少ない木材の供給や、生活環境の保全・安らぎや憩いを得る場の提供を通して生活へ寄与するとともに、温暖化防止にも

【質問】

町長は過去、森林組合長も経験もあり、現在は町長として1万

適切な管理により、多様な機能の維持・向上が図られる。

住民の生命を守る責務がある。住民生命を後世に引き継ぐ為、水資源確保についての見解は。

森林の適正な施設管理は水源涵養機能に資するものと考えており、後々の世代の為に適切な

【答 弁(町長)】

森林は、環境への負荷

な対応に勤めたい。



原田周一
議員



本町の山並み

安心、安全対策は

【答】砂防堰堤を設置する中で不安解消



青山美義
議員

【質問】

湯屋谷地域の連絡道の
新設について。最近は大
国的に大雨や土砂災害等
が発生しているため、未
然に防ぐ対策が必要と考

える。中谷地域で川下で

【答 弁（町長）】

土砂災害通行止め等が発
生した場合、生活に大き
な障害が発生する。横断
連絡道は住民生活に密接
な重要路になるのでは。

湯屋谷地区については、
谷筋に沿って住居が点在
しており、地形的な問題
から行き止まりの状況に
ある箇所もある。

現在、湯屋谷中谷地区
では新たな砂防堰堤を設
置する事業が京都府によ
り進められているので、こ
の事業と連携する中で不
安を解消していきたいと
考えている。

要望箇所の土木事業は

【答】現場の確認状況把握を適切に行う

【質問】

毎年土木事業の施工箇
所の要望書の提出があ
り、数年継続している箇
所があり、住民は要望書
を提出すれば実現するも
のと期待され、毎年言っ
ているが実現しないとの
声がある。出来るものと

出来ないものがあるが、

今後各区関係者（区長）
と一体で要望箇所の現場
を見る考えはないか。

【答 弁（建設課長）】

各区から頂戴している
土木事業に係る要望は、
書面を基に現地を確認し
た上で箇所決定してい

る。各区からの意見・要望
るよう努めてまいりた
に対応するため、現場の確
認や状況把握を適切に行え

通学路の安全を

【答】学校や見守り安全隊の情報に基づき対応



通学路（307号線沿い）

【質問】

通学路の雑草が茂りす
ぎて通行に障害があり、
安全面からもボランティア
に頼るのではなく行政
の責任で管理し、定期的
に早めの伐採をすべきと
考えるが。

【答 弁（建設課長）】

通学路に関しては、毎

日児童生徒が通行してい
るので、迅速な対応が不
可欠であると思われる。
これに関しては、教育委
員会を通じ、学校や見守
り安全隊の方々からの情
報を基に対応していき
たいと考えている。



行止り（中谷地内）

「教育の充実」を重点施策に

【答】教育委員会と調整



維孝館中学校



内田 文夫
議員

【質問】

町長が掲げる重点施策の中で、選択と集中の観点から、本町の教育の進むべき道を明確にされ「教育の充実」を図る事

が喫緊かつ重要であると思うが。

【答 弁(町長)】

総合教育会議において協議事項に挙げ、教育委員会と調整を図りたい。

一貫教育の方針決定は

【答】現段階での判断は無理

【質問】

昨年来の経過の中で、

至っていない。

【質問】

中央教育審議会の答申

平成27年4月1日には一貫教育の進め方や施設あり方について、方針を定めるとのことであるが、もう方針は定められたのか。

【答弁(教育長)】

方針はまだ定めるに

「貫教育学校」か「小中一貫型小中学校」のどちらが本町に適しているのか、その理由も含めてお答え頂きたい。

【答 弁(教育長)】

(意見)

どちらが本町に適しているかの判断は非常に難しい。関係会議において十分な協議検討が必要で、現段階では判断できない状況である。

本町では進展しない中、政府は三月十七日小中一貫校を制度化し「義務教育学校」の設置を閣議決定した。

本格的茶香服施設を

【答】前向きに検討



茶香服の風景

た観光資源の創出と云う点から、本格的な茶香服会場の設置を観光振興計画策定の優先的計画にして頂きたいと思うが。

【答 弁(産業振興課長)】

本町特産の魅力を発信する重要な

【質問】

小学生からお年寄りまで人気のある茶香服を通して、茶の魅力を活かし

ものであり観光振興計画策定の中で茶香服に関する分野についても充実出来るよう努力したい。

有害鳥獣被害対策強化を

【答】フェンス活用等、対策を強化する

【質問】

有害鳥獣被害は、増える一方で、いっそうの対策強化が求められている。被害の状況は、どのように把握されているのか。

【答 弁(産業振興課長)】

有害鳥獣による被害は、全国的に問題になっている。本町でもシカによる被害がひどく、生育途中の水稲や植えて間もないキュウリ苗、一般野菜、お茶の新芽などにも被害が広がっている。またイノシシによる水田のアゼの掘り起こし等の被害もでている。



山裾にフェンスの設置を



安本 修
議員

【質問】

この間、電気柵を中心に対策をされている。これまでは、秋の収穫前だけの対策だけで良かったが、春先の田んぼの植え付け時にも対策が必要になり、今では、植え付け前はもちろん、野菜の被害対策も含め、一年を通して電気柵をはりめぐらす等の対策強化が必要となっている。そこで、山沿い等にフェンスを張る等の対策ができないのか。有害鳥獣被害は、町行政が掌握されている以上に、大きく広がっていて、報告されていない小さな被害も含めれば、農家



シカに食べられた玉ねぎ

はもちろん、小作り等を楽しみにしているお年寄りや多くの住民にとって深刻なものとなっている。いわゆる「受益者」とされる農家の要望があれば対策するというこれまでの立場から、行政主導での対策をもっと強化すべきではないか。

【答 弁(産業振興課長)】

これまで、既に設置されている場合には、1年中電気柵をはり巡らせる

よう指導するとともに、町有害鳥獣対策協において有効な方策を検討する。また、鳥獣被害特別法による補助で、電気柵等の設置を進める。さらに町猟友会を中心に計画にもとづき、引き続き駆除にも取り組んでもらう。フェンスについても、計画を申請してもらえば、京都府にも要望するなど、対応していく。

第2回 議会報告会

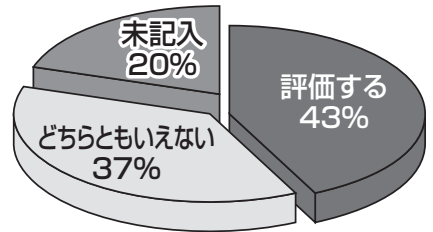
平成27年2月15日(日)、前回同様多くの皆様方のご参加をいただき中で、第2回議会報告会を開催することができました。

今回の意見交換につきましては、①新庁舎建設について②宇治田原山手線について③子ども・子育て関連についてのテーマを事前にお知らせし、開催させていただきました。

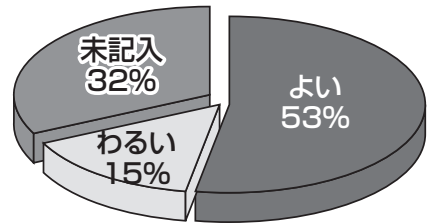


アンケート結果

参加者 51人
アンケート 36人



報告会の評価



報告会の内容

※当日お寄せいただいたアンケートをまとめたものです。紙面の都合上すべてのご意見を掲載することができませんでした。皆さんからお寄せいただいた貴重なご意見は、今後の議会活動に生かして参ります。

各委員会の報告内容に対しての意見

- ・視察研修は良いと思うが、どのように町政に反映するのか疑問である。
- ・報告事項の取組等で実現できるものは、できるように努めて頂きたい。
- ・子育てと共に通常は限界集落対策があると思うが、その対策はどう考えているのか。

意見交換のテーマ選定についての意見

- ・この様な意見交換の機会が少ないので「その他」という項目を設定すればよいと思う。
- ・テーマを絞ることはいいかがか。議会は、町政全般を知っているのではないか。
- ・テーマ選定については、タイムリーだと思う。

町議会全般についての意見

- ・期待をしており、全議員頑張ってもらいたい。
- ・元氣な宇治田原町になるように願う。
- ・一年を通して各議員の動きが住民にも解るような方法はないのか。
- ・給料が上がるようですが、見合った活動を期待します。
- ・町立の幼稚園や認定こども園の設置を望む。新たに子育て世代を呼ぶために必要と思う。

12名の少数の議員の皆さんには、日頃のご活躍大変ご苦労です。住民のためにも今後も頑張ってください。

- ・内容が濃いものばかりで、もっと度々開催すべき。
- ・今後も、住民に開かれた議会をめざし、定例開催(2月・8月(原則))を行って参りますのでよろしくお願いたします。



アレン・クリストファー・ヴァンヘレン さん
マデリン・レイ・パリッシュ さん

ALTとして活躍されているお二人にインタビューをしました。
宇治田原町の好感度はMAXです。
とのうれしいお答えをいただきました。

マデリンさん アレンさん

Q. 出身地は

A. アレンさんは、アメリカ テキサス州出身
マデリンさんは、アメリカ ノースカロライナ出身
との答えでした。

Q. 好きな芸能人は

A. アレンさん
きやりー・ぱみゅ・ぱみゅ
Dr. 中松
マデリンさん
ステファン・コベルト
梶浦ユキ

Q. 宇治田原町での活動は

A. アレンさん 主に中学校で英語を教えています。
マデリンさん 主に小学校及び保育園で英語を担当
しています。

Q. 宇治田原のお気に入り

A. アレンさん きれいな空気と夜空の星
マデリンさん 緑の豊かさと人の優しさ

Q. 今の望みはなんですか

A. 二人とも日本のいろんなところを旅したい。
とのことでした。





入学記念植樹（緑苑坂）



自転車安全教室（銘城台）



旧交番跡に設置された「見守り安全ステーション」

今号の表紙
 爽やかな晴天の元、桜満開の福祉まつりが開催。賑やかに登場の「ちんどん屋さん」いつもありがとうございます。

編集後記

文字通りの三寒四温の中、新年度を迎え、気分一新で編集に取組んだ所です。「住民主権は選挙の時だけ。誰に投票しても自分達の懸念や願いは届かない」そんな無力感を払拭すべく、住民の皆さんの側に軸足を置いて活動している所を伝えたいと思っています。いろいろなご意見もあることと存じますが、長い目と大きな心で読んでいただければ幸いです。よりよい議会誌づくりのために意見を寄せ下さい。

広報編集委員 内田